

秦野駅北口周辺にぎわいのあるまちづくり会議

令和7年度第1回

－ 目 次 －

1 令和7年度スケジュールについて

- (1) 令和7年度事業スケジュール
- (2) 秦野市中心市街地活性化基本計画に位置付けているイベントスケジュール
- (3) 秦野市中心市街地活性化基本計画個別事業管理シート

2 令和7年度収支予算の詳細について

3 多世代交流施設整備に係る取組みについて

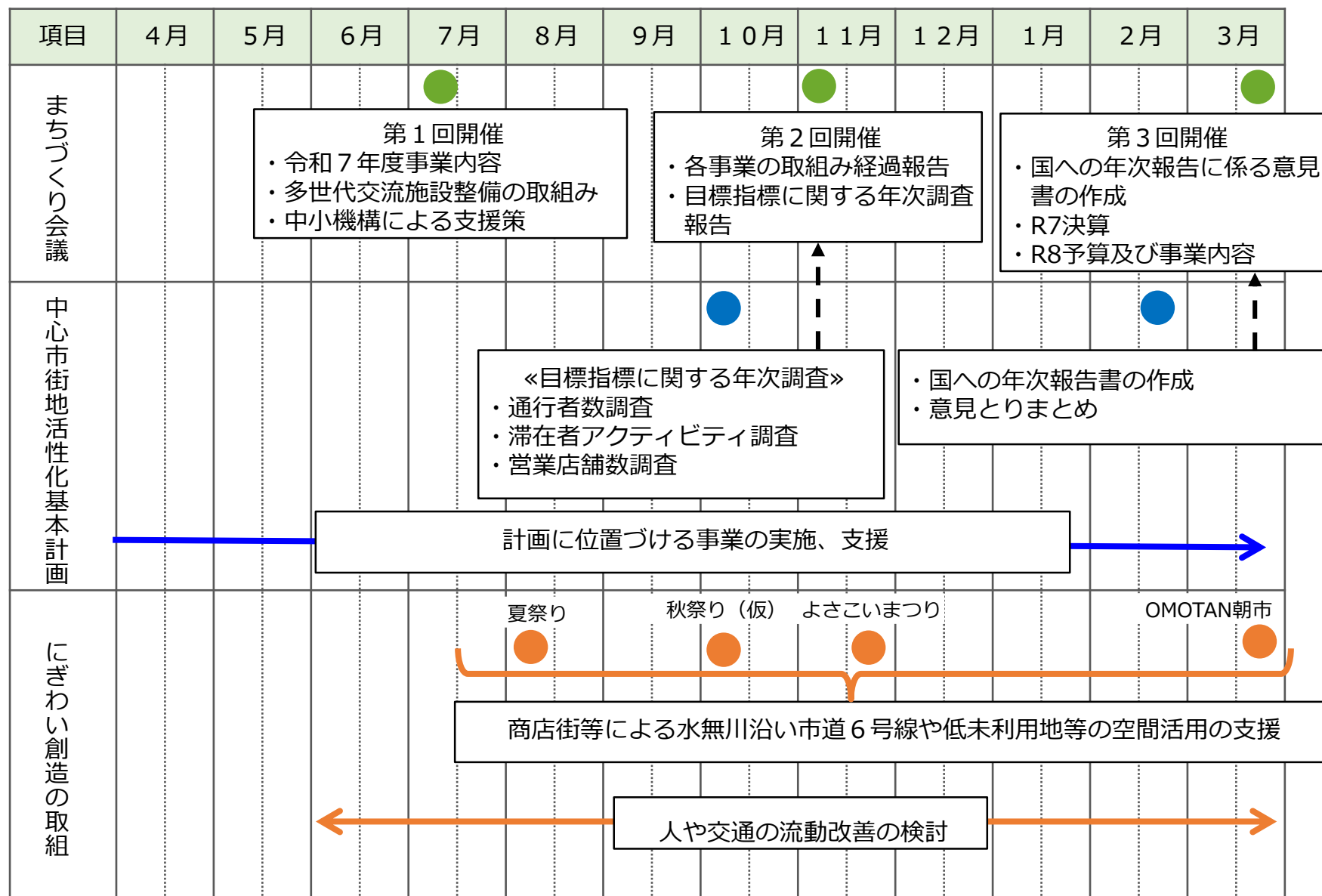
- (1) 多世代交流施設基本構想（案）概要（別紙）
- (2) 令和7年度多世代交流施設整備に係るスケジュール
- (3) 令和7年度第1回多世代交流施設市民検討会開催結果

4 中小企業基盤整備機構による支援について

5 秦野市中心市街地活性化基本計画の記載内容の変更について

1 令和7年度スケジュールについて

(1) 令和7年度事業スケジュール



1 令和7年度スケジュールについて

(2) 秦野市中心市街地活性化基本計画に位置付けているイベントスケジュール

月日	事業名	実施主体	主な会場
8月9日(土)、 10日(日)	夏祭り	・ 秦野駅前通り商店街 ・ 秦野市商店会連合会	水無川沿い市道等
9月27日(土)、 28日(日)	第78回秦野たばこ祭	・ 秦野たばこ祭実行委員会	秦野市役所、本町小学校、市道6号線等
10月12日(日)(予定)	ハロウィン	秦野駅前通り商店街	水無川沿い市道
11月22日(土)、 23日(日)	神奈川よさこい祭り	神奈川よさこいまつり実行委員会	水無川沿い市道、 本町小学校校庭等
11月15日(土)	丹沢日和フェス	丹沢日和フェスティバル実行委員会	秦野駅
令和8年3月	OMOTAN朝市	秦野市商店会連合会	水無川沿い市道
毎月第1金曜日	上宿観音縁日	上宿観音縁日実行委員会	上宿観音堂
毎月第4土曜日	丹沢日和70GO秦野 駅マルシェ	丹沢日和70GO秦野駅マル シェ実行委員会	秦野駅ペDESTリア ンデッキ

※ 上記イベントとの連携を想定している事業

- ・ 東海大学による移動販売等のためのワゴンの制作及び試験運用
- ・ 神奈川大学によるペイントワークショップ及びレトロ空間等のフィールドワーク

2 令和7年度収支予算の詳細について

● 令和6年度第3回会議にて承認された令和7年度収支予算

収入の部

単位:円

科目	令和7年度	令和6年度	増減額	摘要
国庫補助金	0	7,000,000	-7,000,000	
市補助金	2,400,000	8,607,000	-6,207,000	秦野駅北口周辺にぎわい創造 推進事業補助金
出店手数料	0	30,000	-30,000	
雑入	902	1,344	-442	預金利息
繰越金	98	0	98	
合計	2,401,000	15,638,344	-13,237,344	

支出の部

単位:円

科目	令和7年度	令和6年度	増減額	摘要
委託料	2,100,000	15,629,976	-13,529,976	(交通流動調査、ワークショップや空き店 舗の活用等に係る運営委託など)
通信運搬費	50,000	0	50,000	ホームページ維持管理
消耗品費	231,000	0	231,000	事務消耗品、印刷
事務費	20,000	8,270	11,730	振込手数料等
合計	2,401,000	15,638,246	-13,237,246	

2 令和7年度収支予算の詳細について

● 令和7年度支出の部の詳細について

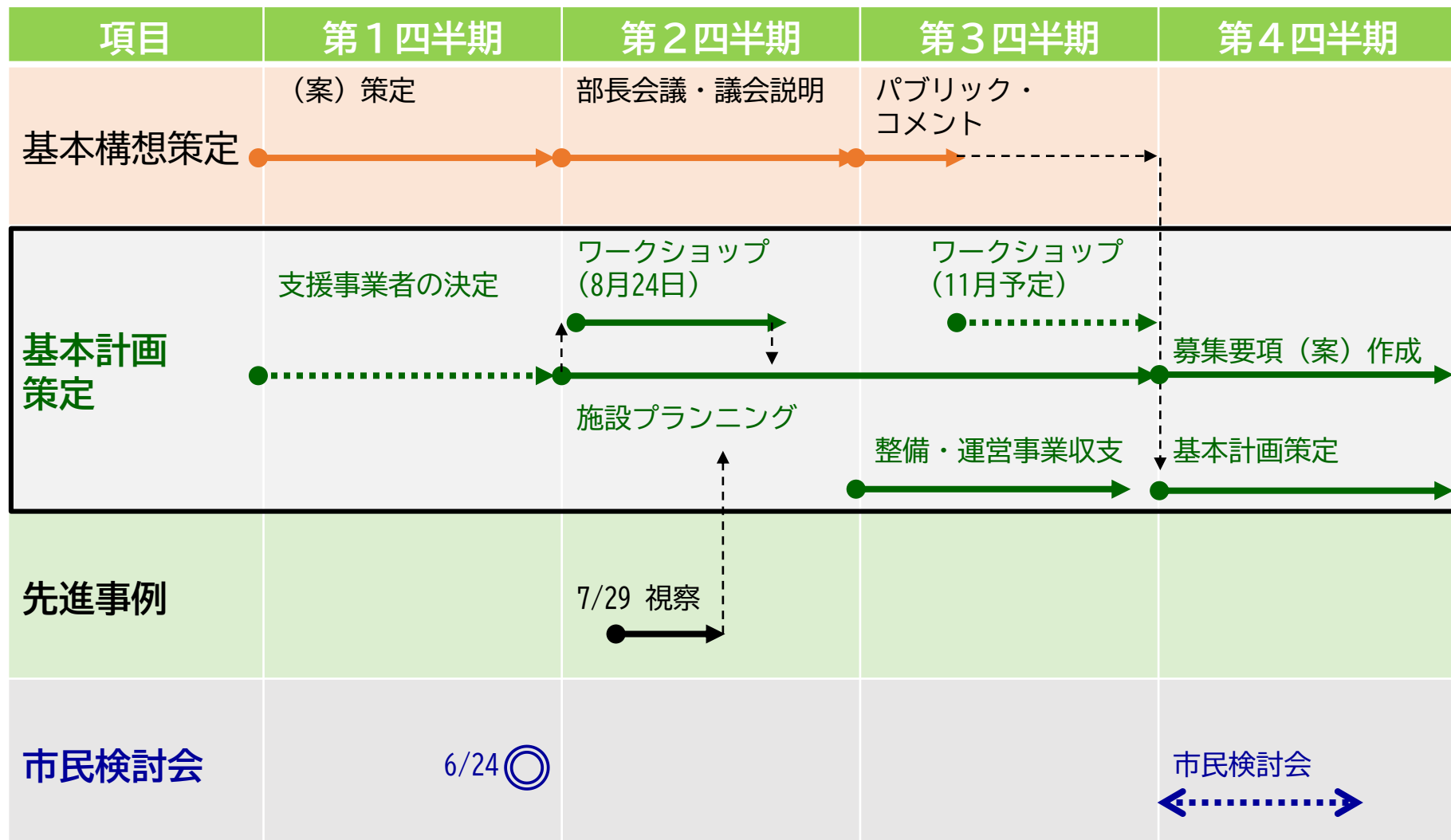
支出の部(案)

単位:円

科目	令和7年度	令和6年度	増減額	摘要
委託料	550,000	15,629,976	-15,079,976	・図書に関するワークショップ運営委託 ・web掲載委託
事業費	1,550,000	0	1,550,000	・水無川沿い等イベント開催支援 ・まちなか空間活用事業 ・空き店舗対策や開業支援等に係る事業 ・駅前交通の流動改善に係る事業
通信運搬費	50,000	0	50,000	ホームページ維持管理
消耗品費	231,000	0	231,000	事務消耗品、印刷
事務費	20,000	8,270	11,730	振込手数料等
合計	2,401,000	15,638,246	-13,237,246	

3 令和7年度 多世代交流施設整備に係る取組みについて

(1) 令和7年度多世代交流施設整備に係るスケジュール



3 令和7年度 多世代交流施設整備に係る取組みについて

(3) 令和7年度第1回多世代交流施設市民検討会開催結果

1 日時

令和7年6月24日（木）午後3時30分から午後5時15分まで

2 場所

秦野市役所西庁舎3階 大会議室

3 委員

東海大学建築都市学部、東道自治会、秦野市商店会連合会、社会福祉法人青い鳥、秦野美術協会、社会教育委員、たけのこ学級ボランティア、令和6年度はたちのつどい実行委員会

4 内容

子育てや図書機能の先進事例について、多世代交流施設整備基本構想案について、施設機能やレイアウトについて

5 意見等

(1) 施設コンセプト及び方向性

ア 多世代交流施設整備基本構想案で示す施設コンセプトや導入機能イメージについて、概ね了解した。

イ 市民や来街者が気軽に訪れることができるような親しみやすい施設になると良い。

ウ 公共施設の閉館時間は18時頃のイメージがあるが、学生などの利便性を高めるためには、夜まで開館できると良い。

(2) 施設機能

ア 図書機能の検討に当たっては、本の著者によるトークショーなど、本にまつわるイベントを開催できると良い。

また、幅広い年代の方が多様な分野の図書や情報に触れることのできる施設になると良い。

イ こどもの遊び場を通して、秦野の自然の魅力に気づくきっかけになる仕掛けがあると良い。

ウ 子どもが水遊びのできる空間が整備されると良い。

エ 親の目が届く範囲で、年代の異なる兄弟を遊ばせられると良い。

オ こどもの一時預かりサービスが整備されると良い。

カ 市内の情報が集約され、効果的に発信できる機能が整備されると良い。

キ 広場には、コンテナやトレーラーが設置され、日替わりや週替わりで色々なお店が出せると良い。

また、イベント開催のために電源等を広場に確保できると良い。

ケ 秦野駅北口周辺の中心市街地には公園がないため、広場等には緑を多く取り入れられると良い。

(3) 施設配置

ア 部分的な吹き抜けなどにより、上階と下階で、それぞれの活動の気配が感じられる空間になると良い。

イ 階段は人が出会う場であるため、施設の隅に配置するのではなく、開けた空間に配置した方が良い。

ウ 主要な機能を1階に配置することを前提として、機能の優先順位付けができると良い。

エ こどもを上階まで連れて行くことの負担を軽減するため、子育て機能は1階にあると良い。

4 中小企業基盤整備機構（中小機構）によるまちづくり支援について

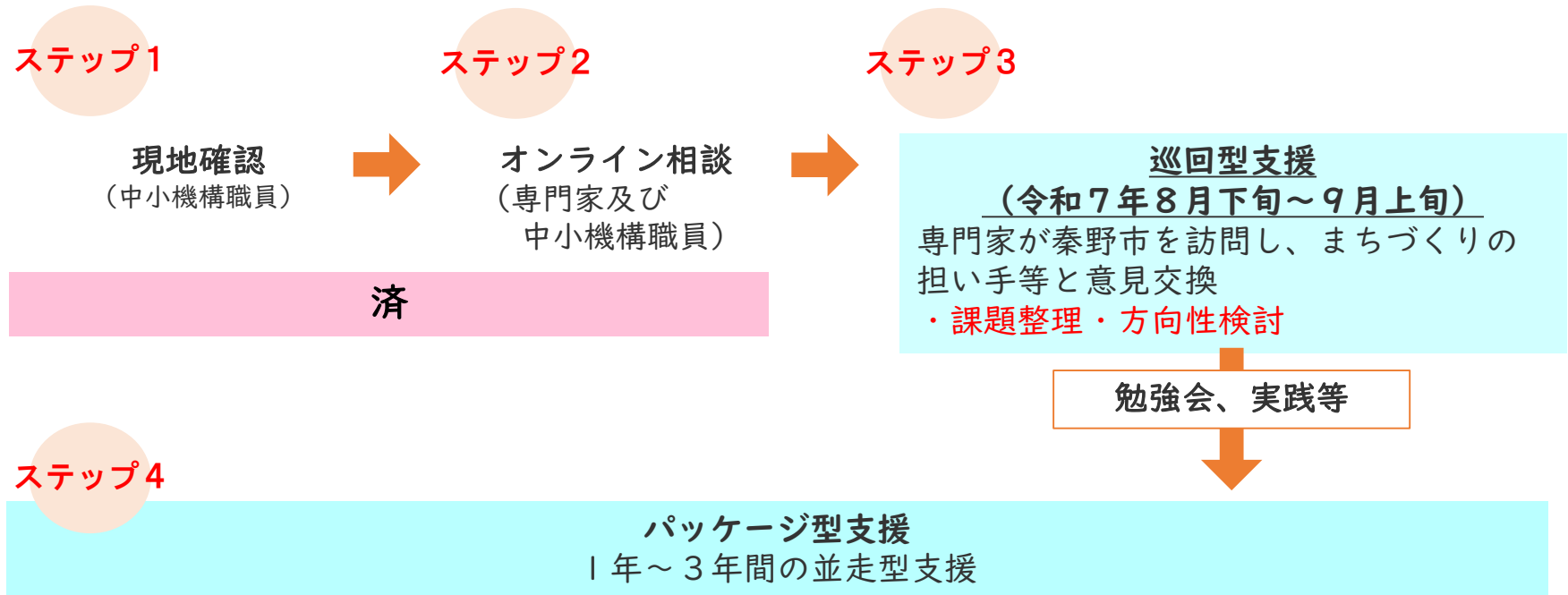
1 中小機構の支援

秦野市中心市街地活性化基本計画の国の認定に伴い、経済産業省が所管する中小機構により、まちの価値向上や活性化の取組の支援を受けることができます。

これまで、中小機構職員の現地視察とオンライン相談を受け、地区の状況や計画概要、課題などを伝えたところです。

今後は、専門家を招いた意見交換などを行い、専門的な視点から、事業の具体的な内容や進め方について助言をいただく予定です。

2 中小機構による段階的な支援内容



《中小機構》

中小機構は、経済産業省（中小企業庁）所管の国の中小企業政策の中核的な実施機関として、地域の自治体や中小企業支援機関と連携しながら中小企業・小規模事業者の成長をサポートしています。

4 中小企業基盤整備機構（中小機構）によるまちづくり支援について

3 専門家について

伊藤 大海（いとう おおみ）氏



- 1976年2月 佐賀県生まれ東京育ち 東京都日野市在住
- 独）中小企業基盤整備機構 アドバイザー
愛知県半田市中心市街地活性化市長特任顧問（副市長級）
中小企業診断士（平成14年登録）
まちづくりLand for Next Generation代表
- 独）中小企業基盤整備機構
中心市街地活性化に取り組む地域の事業構想・計画策定支援事業のディレクションや助言
（愛知県豊田市、三重県伊賀市、青森県八戸市、むつ市、ほか）
- 復興庁
専門家派遣集中支援事業において、陸前高田市の事業計画検討、新事業立ち上げ支援

4 秦野市へのアドバイス内容（抜粋）

- （1）まちのプレーヤーの発掘・育成や具体的な事業を担う組織（プラットフォーム）づくりが今後の課題になると思う。
- （2）組織づくりについては「どのようにつくるか」などの手段として考えるのではなく、「なぜ必要か」を考えながら進めてほしい。
- （3）まちをこうしたいという熱意（自発的要因）がある人たちで、質の良い事例や情報をインプットしながら、まちの将来について考え、その内容を可視化していくと良い。

5 秦野市中心市街地活性化基本計画の記載内容の変更手続きについて

秦野市中心市街地活性化基本計画の記載内容について、国の支援措置名の変更に伴い、次のとおり、朱書き箇所の変更申請を内閣府に行います。

【事業名】 電子地域通貨関連事業

【事業実施時期】	令和7年度～令和11年度		
【実施主体】	秦野市		
【事業内容】	地域経済及び地域コミュニティの活性化などを推進するため、電子地域通貨を導入する。		
活性化を実現するための位置づけ及び必要性			
	【目標】	生活利便性の向上	
	【目標指標】	居住満足度	
	【活性化に資する理由】	地域内に限定した通貨により、市外に流出しているお金を地域内に循環させ、域内経済の好循環に寄与。この取組の継続のための事業者交流のほか、市民との交流機会が生まれるほか、市内店舗でしか買えない商品、サービスづくりや個店からの情報配信により、個店のファン作りや誘客促進につなげる。	
【支援措置名】	デジタル田園都市国家構想交付金 新しい地方経済・生活環境創生交付金(第2世代交付金)		
【支援措置実施時期】	令和5年度～令和9年度	【支援主体】	内閣府

記載箇所 基本計画(P97)